

弊社グループは、福岡市の天神・博多エリアでオフィスビルの賃貸業を営んでおり、省エネ・CO2排出削減や自然エネルギーの導入を進めており、構造、使用する材料、空調や照明をはじめとする各種設備など、総合的な視点で省エネ性能の向上に取り組んでいます。今回の計画では、オフィスビルにおける空調及び照明を高効率の設備に更新することで消費エネルギーを削減し、炭素生産性の向上を図ります。具体的には、エネルギー効率の向上を目指す為、空調設備については熱源を従来のガス吸収式冷温水機からGHPチラーに、パッケージエアコンは新機種のものに、照明設備については蛍光灯からLEDに更新します。

## <事業適応計画の概要>

1.事業適応計画の実施期間  
2022年3月～2023年3月

2.生産性向上目標  
紙与渡辺ビル全体で炭素生産性を27.6%向上させます。

3.前向きな取組の内容  
紙与渡辺ビルで使用している空調及び照明を高効率の設備へ更新することで消費エネルギーの削減を図ります。  
この結果、紙与渡辺ビルの炭素生産性を27.6%向上させていきます。

4.支援措置  
税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

## <高効率空調・照明を導入する紙与渡辺ビル>

